

**製品名: p19 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15583**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	CDKN2D
別名	CDKN2D; Cyclin-dependent kinase 4 inhibitor D; p19-INK4d
遺伝子 ID	1032.0
SwissProt ID	P55273
免疫原	抗血清はヒト CDKN2D 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 96-145

**背景**

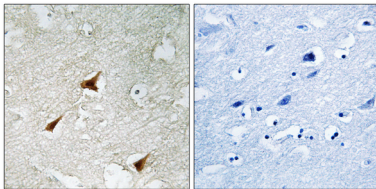
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイクリン依存性キナーゼ阻害因子 INK4 ファミリーのメンバーです。このタンパク質は CDK4 または CDK6 と安定な複合体を形成し、CDK キナーゼの活性化を阻害することで、細胞周期 G1 期の進行を制御する細胞

増殖因子として機能することが示されています。この遺伝子の転写産物量は細胞周期依存的に変動し、G1 期中期に最低発現、S 期に最大発現を示します。このタンパク質による細胞周期の負の調節は、神経細胞の増殖および精子形成の抑制に関与することが示されています。この遺伝子には、同一のタンパク質をコードする 2 つの選択的スプライシングバリエントが報告されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能:CDK4 および CDK6 と強く相互作用し、それらを阻害します。 ,類似性:CDKN2 サイクリン依存性キナーゼ阻害剤ファミリーに属します。 ,類似性:4 つの ANK リピートを含みます。 ,

## 研究分野

細胞周期 G1S;細胞周期 G2M\_DNA;

## 画像データ



p19 INK4d 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。